

# 令和8年度 学校運営方針説明会

令和8年5月23日

説明会の流れ (10時25分～)

1. 学校運営方針について 校長
  2. 本校のいじめ・不登校対応について 生徒指導担当 早川
  3. 本校の校内研究について 校内研究担当 西川
- 引き渡し訓練について (11時35分～11時50分)

# 令和8年度 学校運営方針

USER  
GOALS

1.



# なぜ、こんな説明会が？

## 校長としての願い

学校が立てた目標について、保護者の方にもご理解いただき、学校と保護者が「子どもをよりよく育てる」という共通目標のもと横並びとなり、同じ方向性をもって、保護者の方と協力しながら子どもたちを育てていきたい



令和8年度 学校教育目標



一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

自分のことを大切に

仲間を大切に

自立した態度を育む

学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校



令和8年度 学校教育目

標 一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

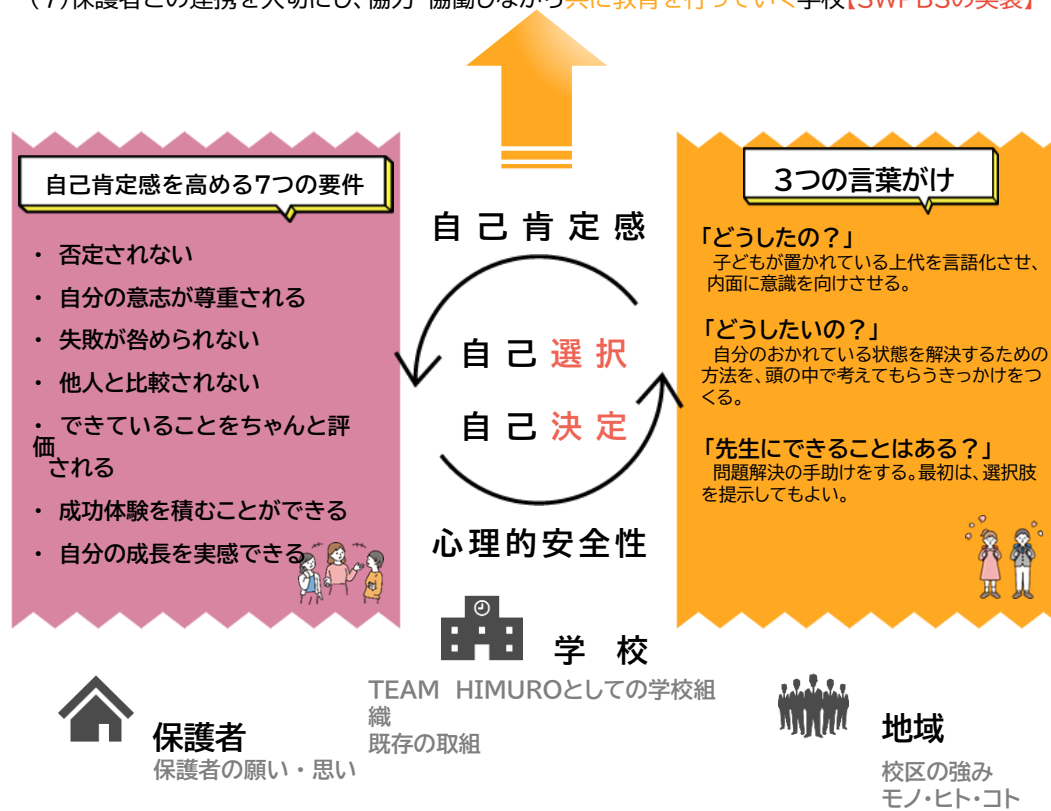
学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校

めざす学校像



- (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校【校内研究の充実】
- (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にした学校【SWPBSの実装】
- (4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (5)全教職員が「TEAM HIMURO」として、学校教育の全てに携わる学校
- (6)地域の特性を学校教育に活かし、地域と歩む学校
- (7)保護者との連携を大切にし、協力・協働しながら共に教育を行っていく学校【SWPBSの実装】



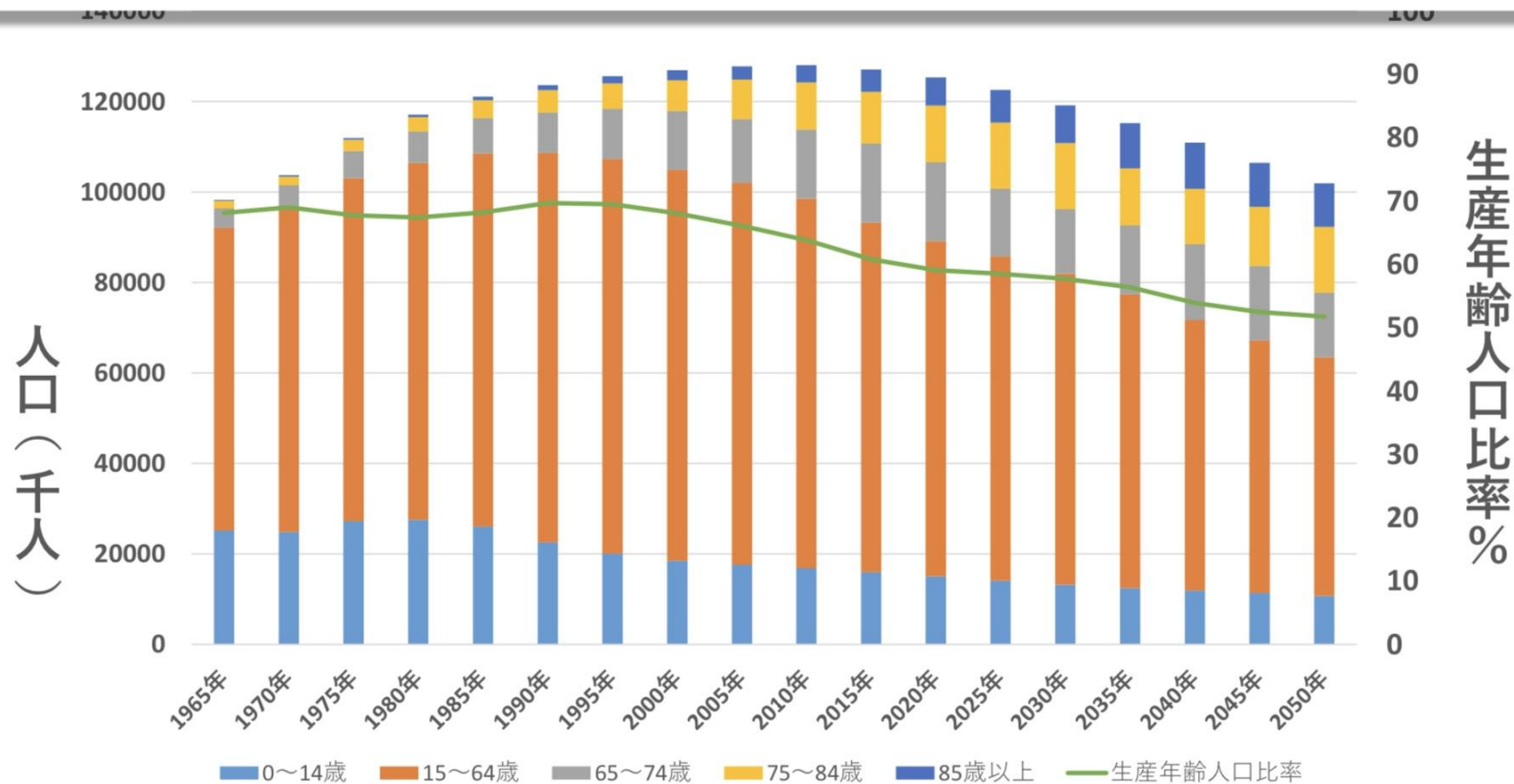
# 学校教育目標に込めた思い

そもそも「教育」とは？

子ども達が生きていく10年後、20年後の未来に思いを馳せ、  
その時代を生きていく上で必要な力を考えて育てていく必要がある。

## トレンド① 人口減少・少子高齢化

- 2050年に約1億まで減少する見込み。
- 生産年齢人口比率は約5割に。



# 今日から見える未来の社会情勢(2)

## トレンド④ 社会の急速なデジタル化



出典：文部科学省「令和3年版科学技術・イノベーション白書」

**仮想空間と現実空間の高度な融合。社会のあらゆるところにデジタル技術。よき創り手、よき使い手を育てる必要。**

# 今日から見える未来の社会情勢(3)

## GPTo 1 知能指数テストで130超え 【出所】[IQ Test](#) | [Tracking AI](#)

This site quizzes 11 Verbal & 7 Vision AIs every week | Last Updated: 07:50AM EST on **December 13, 2024**

### IQ Test Results

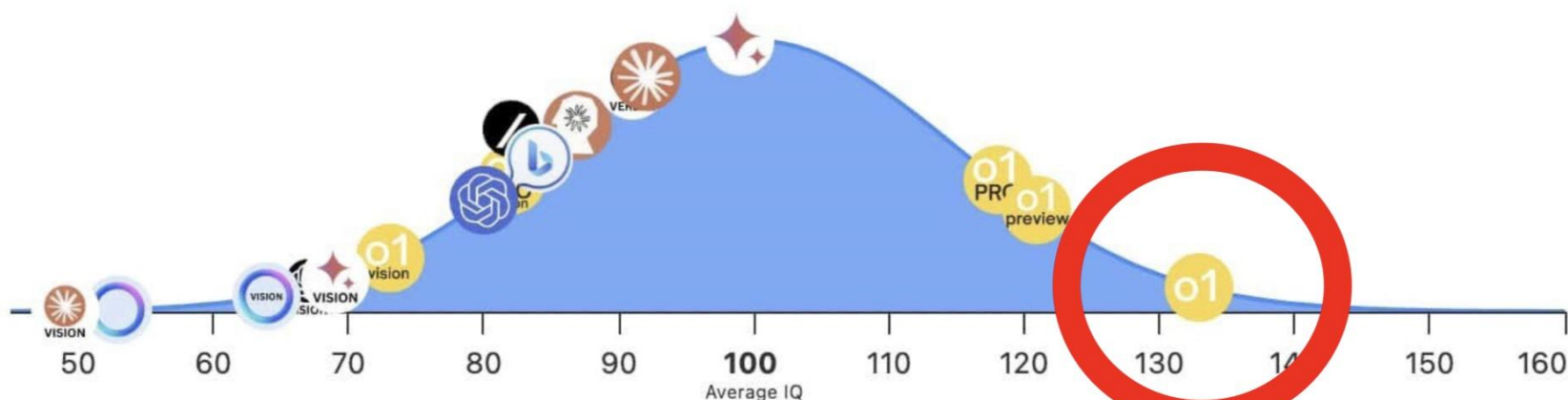
Reset

Show Offline Test

Show Mensa Norway



Mensa Norway IQ Scores (Average of last 7 tests)



- |                        |                    |                          |
|------------------------|--------------------|--------------------------|
| OpenAI o1 Pro (Vision) | OpenAI o1 (Vision) | ChatGPT-4                |
| OpenAI o1 Pro          | OpenAI o1          | Gemini Advanced          |
| Claude-3.5 Sonnet      | OpenAI o1 preview  | GPT4 Omni (Vision)       |
| GPT4 Omni              | Llama-3.2 (Vision) | Llama-3.3                |
| Grok-2                 | Bing Copilot       | Gemini Advanced (Vision) |

# 今日から見える未来の社会情勢(3)

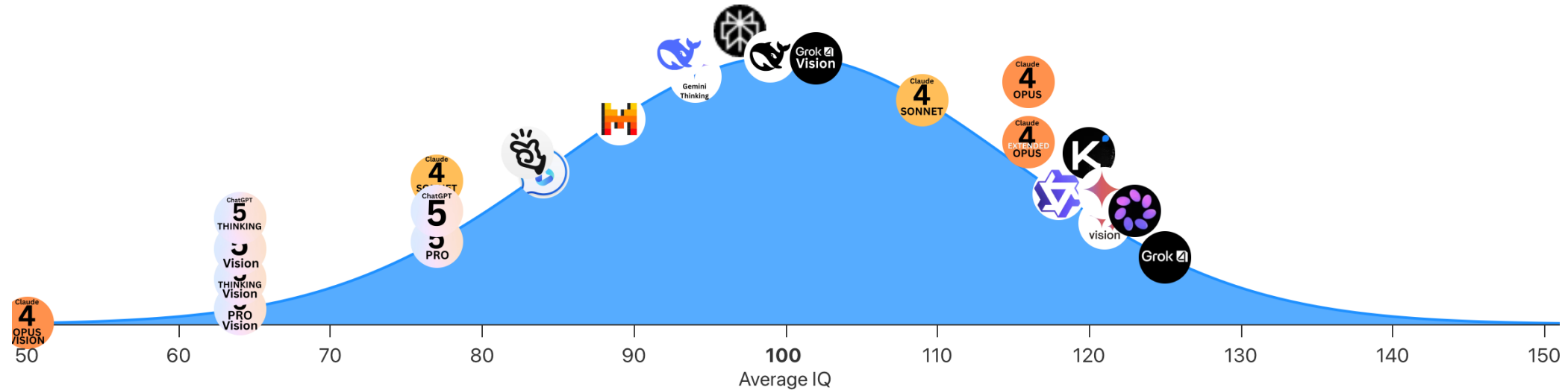
## AI IQ Test Results

Score reflects average of last 7 tests given

Reset Show Offline Test Show Mensa Norway Vision Only Vision Only

**TrackingAI.org**  
Offline quiz (not in training data)  
A MaximumTruth.org Project

May, 2026



- |                                  |                                   |                          |                             |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| Qwen 3.6                         | Claude-4.7 Opus Extended Thinking | Kimi K2.6                | Mistral Medium 3.1          |
| Gemini 3.1 Pro Preview (Vision)  | Gemini 3.1 Flash Preview          | Gemini 3.1 Pro Preview   | Claude-4.7 Opus             |
| Perplexity                       | Muse Spark                        | Bing Copilot             | Manus                       |
| Claude-4.6 Sonnet (Vision)       | Claude-4.6 Sonnet                 | Claude-4.7 Opus (Vision) | DeepSeek V3                 |
| DeepSeek R1                      | Grok-4.20 Expert Mode (Vision)    | Grok-4.20 Expert Mode    | OpenAI GPT 5.5 Pro (Vision) |
| OpenAI GPT 5.5 Thinking (Vision) | OpenAI GPT 5.5 (Vision)           | OpenAI GPT 5.5 Pro       | OpenAI GPT 5.5 Thinking     |
| OpenAI GPT 5.4                   |                                   |                          |                             |





# 今日から見える未来の社会情勢(3)

kyodonewsprwire.jp

ビジネス

地域・観光

テック

ライフスタイル

芸能・文化

フード・グルメ

キーワードを入力



## 1. 検証結果概要

**3種のAIすべてが東大合格ラインを大きく超える8割以上の得点率。**

理三合格レベルも突破!! 最高得点はClaude (Opus4.6) で9割に迫る。

数学(文系)は3種のAIがすべて満点! 図形の読み解きなどに課題。

			文系合計 440点満点		理系合計 440点満点	
1	Claude Opus 4.6	Anthropic	386	87.7%	391	88.9%
2	Gemini 3.1 Pro	Google	382	86.8%	380	86.4%
3	GPT-5.2	OpenAI	359	81.6%	371	84.3%

		英語 120点満点	国語(文科) 120点満点	国語(理科) 80点満点	数学(文科) 80点満点	数学(理科) 120点満点	世界史 60点満点	日本史 60点満点	地理 60点満点	物理 60点満点	化学 60点満点	生物 60点満点
1	Claude	113	94	67	80	106	52	47	49	59	57	40
2	Gemini	116	100	71	80	89	49	49	40	60	58	44
3	GPT	112	83	59	80	98	40	41	49	54	52	46

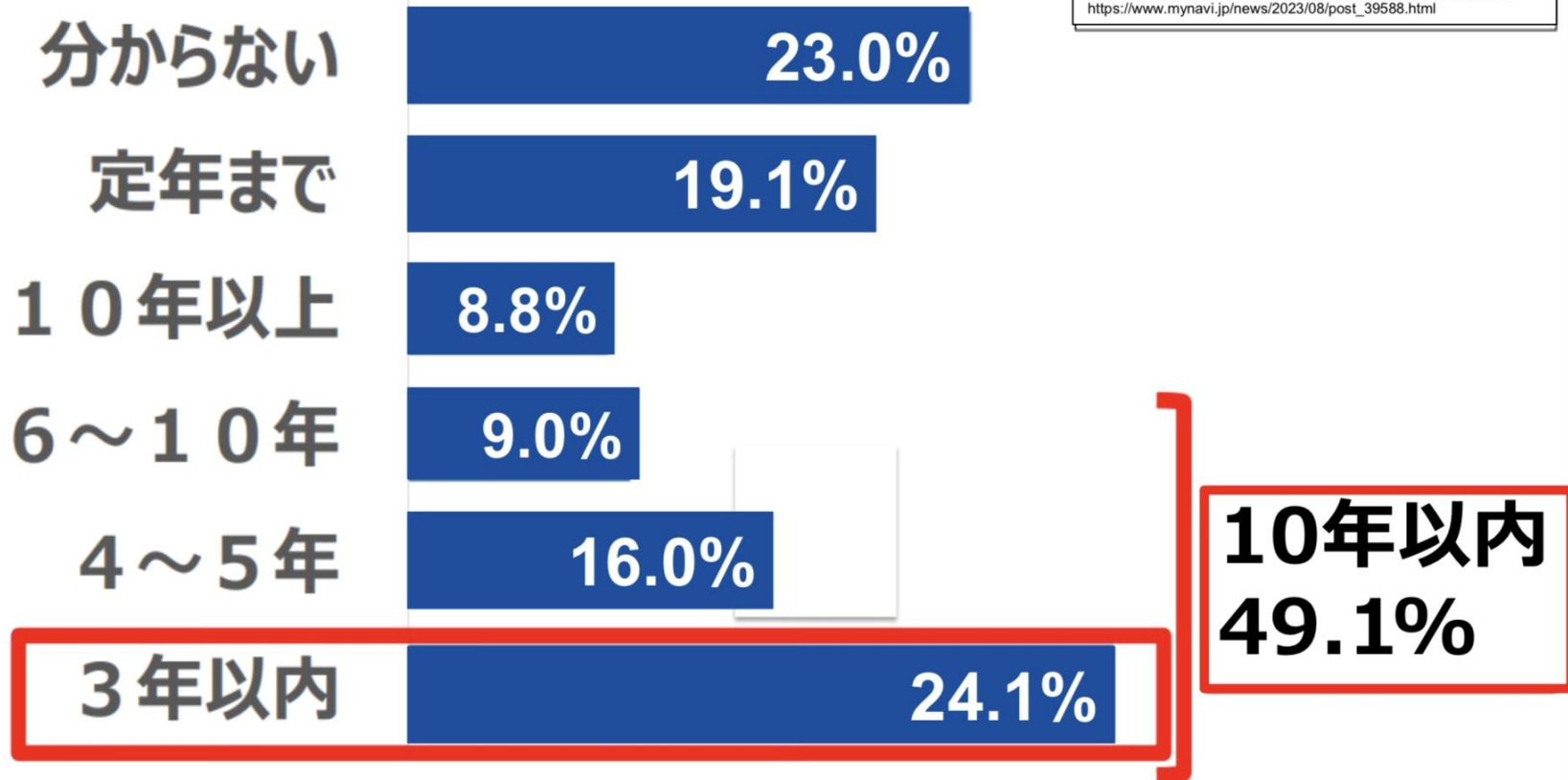
①Claude (Opus4.6)、Gemini (3.1pro)、GPT (5.2) の3種の生成AIで、文理ともに得点率8割以上となった。例年の合格最低点は、共通テストと二次試験の合計で6割程度であり、今回の生成AI3種は合格ラインを大きく超えた。最難関と言われる理科三類にも余裕で合格できるレベルである。





# 今日から見える未来の社会情勢(4)

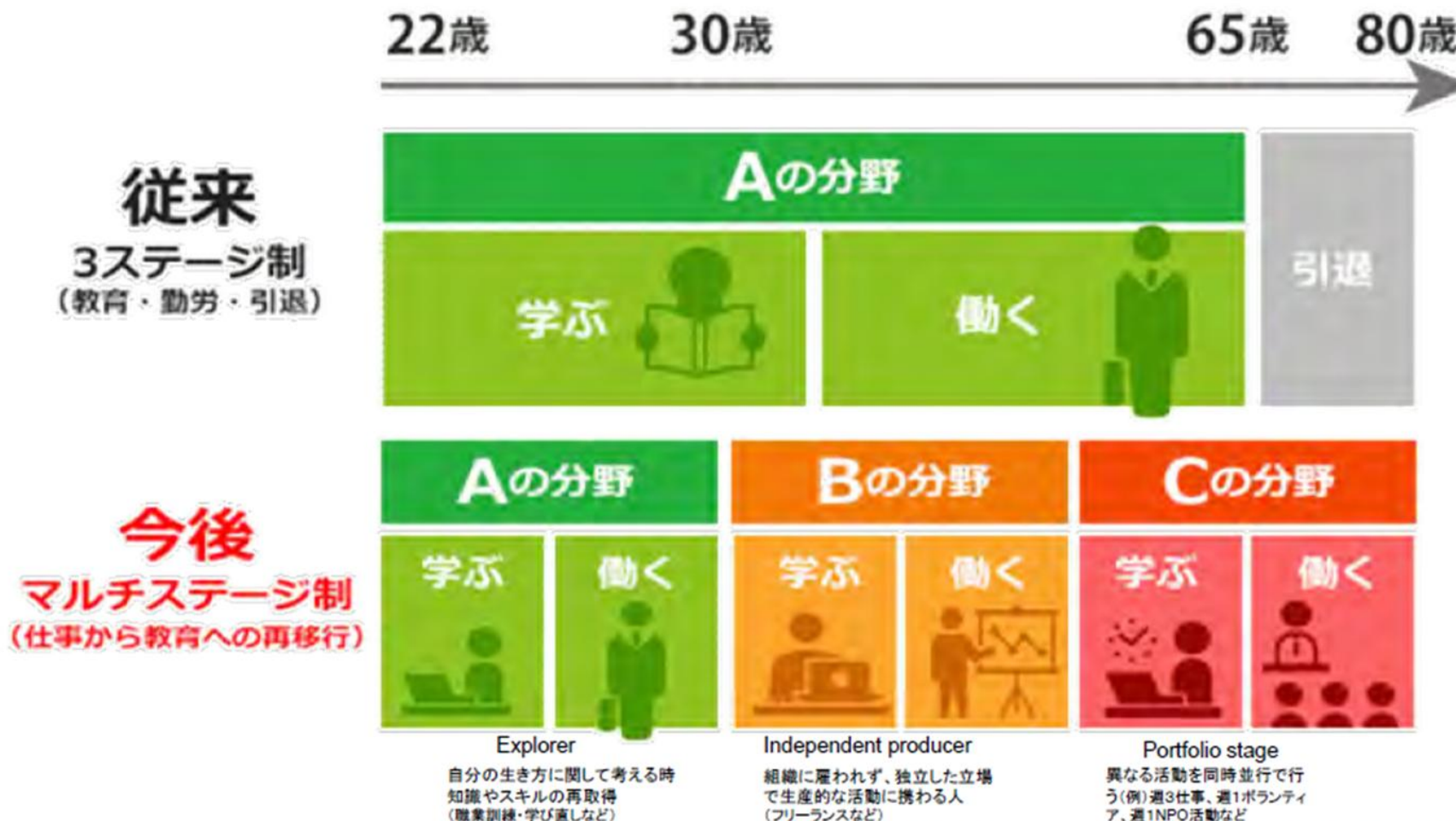
## 2023年新入社員<今の会社で何年働く?>



転職は当たり前、その度に新たな適応、学習  
先生がいなくても学ぶ経験・習慣も大事

# 今日から見える未来の社会情勢(4)

変化の激しい時代×人生100年時代  
●働く期間が長くなる ●マルチステージの時代へ



# 今日から見える未来の社会情勢

1. 少ない生産人口の中で、持続可能な社会を成り立たせる必要性
2. AIも含めたデジタル技術を使いこなす力を身につける必要性
3. 2の上で、人間のもつ強みを生かせる必要性
4. 自分自身で学び続けることができる力をもつ必要性

# 若者の現状(1)

## PISA2022

 日本の平均得点と統計的な有意差がない国

OECD加盟国  
(37か国)

順位	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	日本	536	アイルランド*	516	日本	547
2	韓国	527	日本	516	韓国	528
3	エストニア	510	韓国	515	エストニア	526
4	スイス	508	エストニア	511	カナダ*	515
5	カナダ*	497	カナダ*	507	フィンランド	511
6	オランダ*	493	アメリカ*	504	オーストラリア*	507
7	アイルランド*	492	ニュージーランド*	501	ニュージーランド*	504
8	ベルギー	489	オーストラリア*	498	アイルランド*	504
9	デンマーク*	489	イギリス*	494	スイス	503
10	イギリス*	489	フィンランド	490	スロベニア	500
OECD平均		472	OECD平均	476	OECD平均	485

全参加国・地域  
(81か国・地域)

順位	数学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	シンガポール	575	シンガポール	543	シンガポール	561
2	マカオ	552	アイルランド*	516	日本	547
3	台湾	547	日本	516	マカオ	543
4	香港*	540	韓国	515	台湾	537
5	日本	536	台湾	515	韓国	528
6	韓国	527	エストニア	511	エストニア	526
7	エストニア	510	マカオ	510	香港*	520
8	スイス	508	カナダ*	507	カナダ*	515
9	カナダ*	497	アメリカ*	504	フィンランド	511
10	オランダ*	493	ニュージーランド*	501	オーストラリア*	507

【出典】 OECD生徒の学習到達度調査PISA2022のポイント(国立教育政策研究所)から作成

\* 国名の後に「\*」が付されている国・地域は、PISAサンプリング基準を一つ以上満たしていないことを示す。

全分野で世界トップ級 ICT×学習への慣れも背景

# 若者の現状(2)

## 我が国の子供たちのウェルビーイングの状況

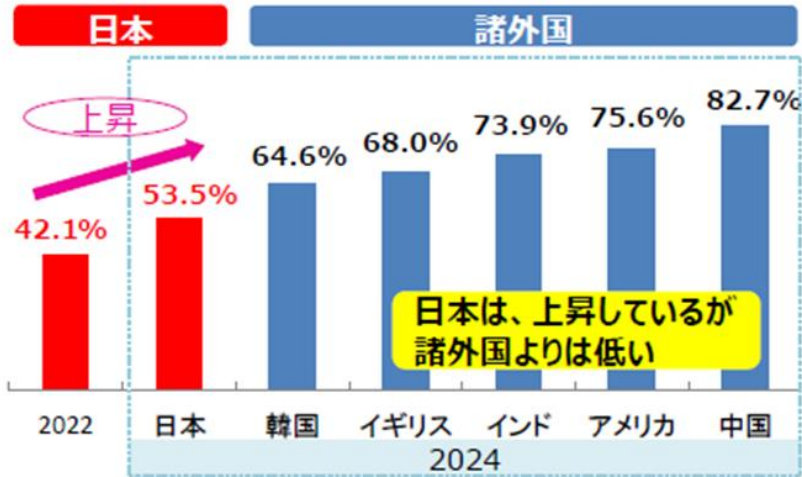
指標分野	指標	日本の結果
物質的な状況	家庭にインターネット環境がない子どもの割合	中
身体的な健康状況	乳幼児の死亡率	高
認知的・教育状況	10歳程度の子どもの数学・科学のトップ学力層の割合	高
	15歳程度の子どもの読解力・数学・科学のトップ学力層の割合	高
	高等教育を修了することを希望する子どもの割合	中
	子ども・若者のうちニートの割合	高
社会・情緒的な発達の状況	自己有用感がある子どもの割合※1	低
	成長意欲がある子どもの割合	高
	人生に意義や目的を感じている子どもの割合※2	低
	全体として人生に満足していると感じている子どもの割合※3	低

【出典】OECD：子供のウェルビーイング指標群（Children's Well-being Dashboard）  
 ※1 困難に直面したとき、たいてい解決策を見つけることができる ※2 自分の人生には明確な意義や目的がある ※3 全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか  
 ウェルビーイング＝身体的、精神的、社会的に良い状態にあること。いわゆる「幸福感」。短期的な快い感情のみならず、中長期的な生きがいや人生の意義を含む概念。個人の状態のほか、社会や地域の状況の評価も含む概念

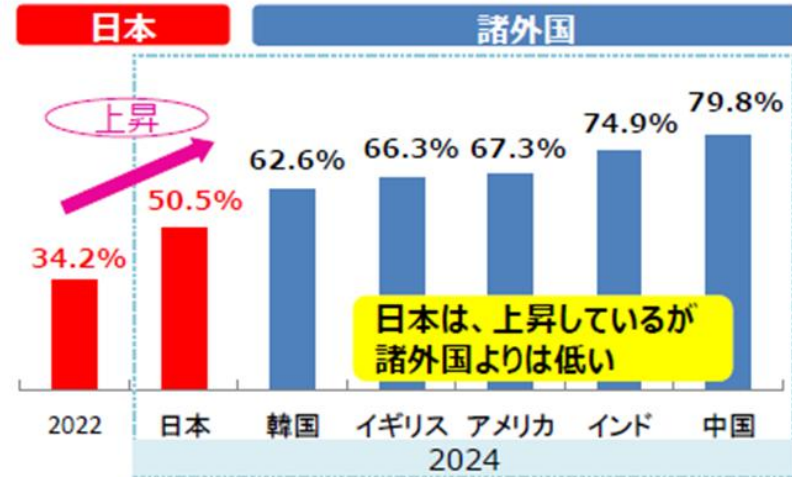
# 若者の現状(4)

## 社会に対する若者の意識が諸外国に比べて低い

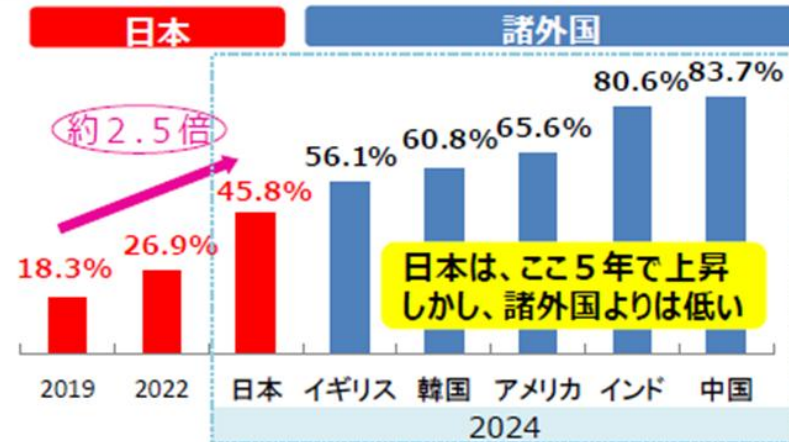
①政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている



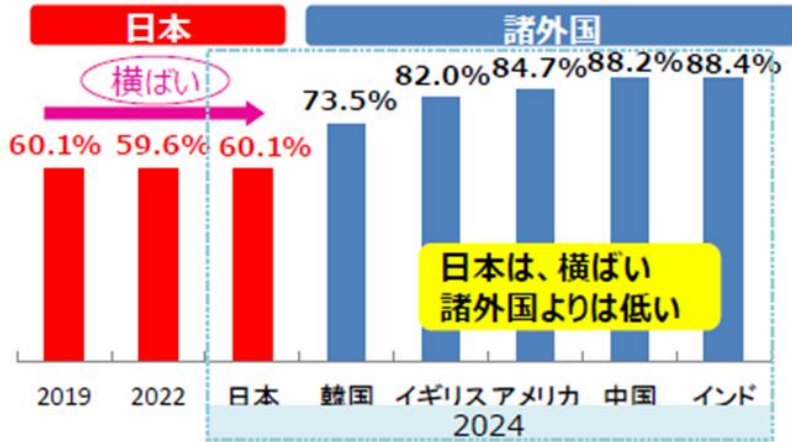
②政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することがある



③自分の行動で国や社会を変えられると思う



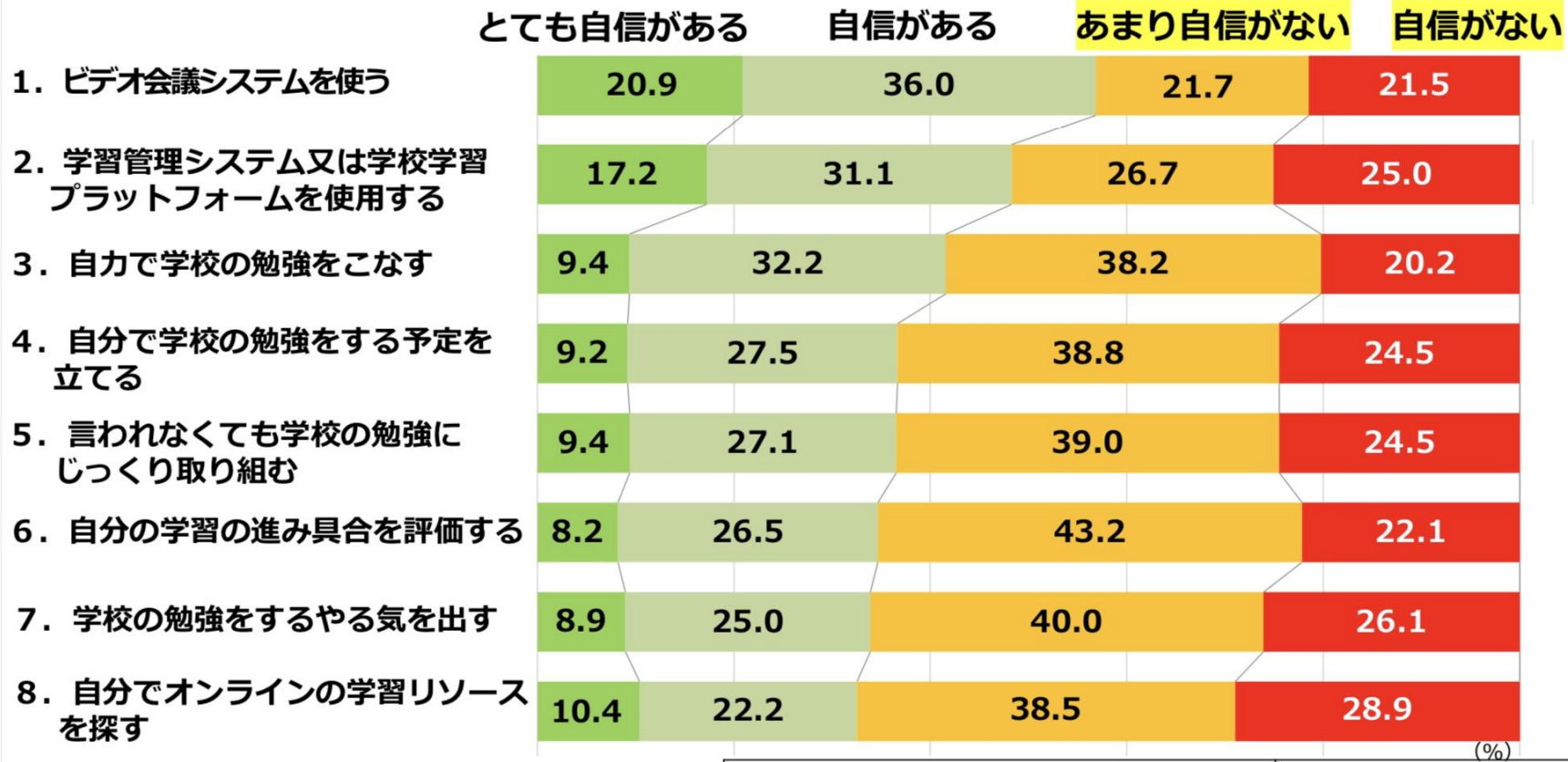
④将来の夢を持っている



# 若者の現状(3)

## 再び休校になった場合、 自律的に学ぶ自信がない生徒が非常に多い

PISA2022



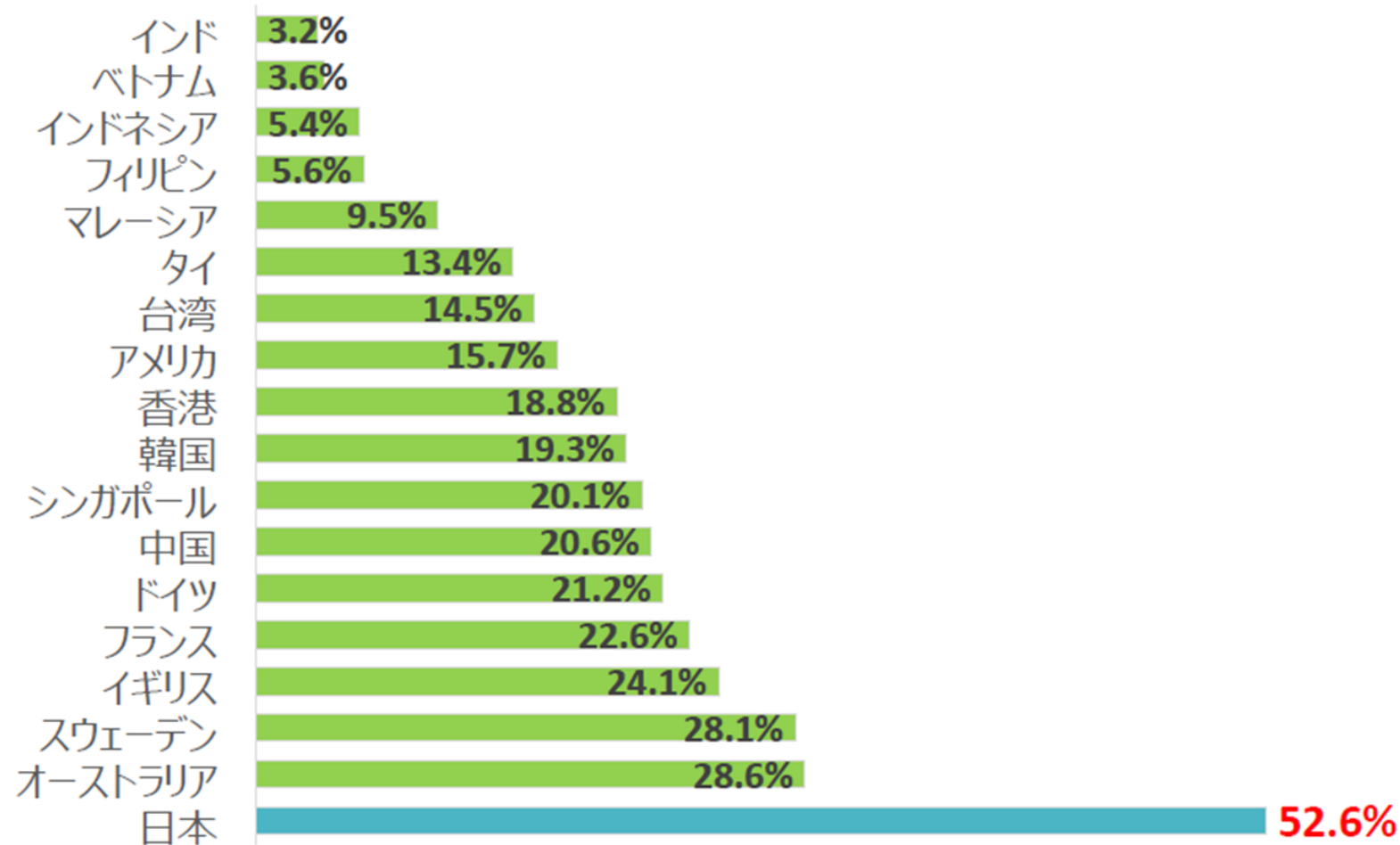
上記8項目を指標化して比較…

※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感(自信)が高い。

OECD平均	0.01
日本(34/37位)	-0.68

# 若者の現状(3)

社会人になっても自己研鑽・自己啓発を行わない人の割合が高い



# 若者の現状

1. いわゆる点数という意味での学力は高い
2. 人生に対する幸福度や自己肯定感が低い
3. 社会に対しての関心が低い
4. 自分で自分の学びを調整することが難しい

# 若者の現状と氷室小学校がめざす教育

( )は「めざす学校像」より

1. いわゆる点数という意味での学力は高い

→ (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校

2. 人生に対する幸福度や自己肯定感が低い

→ (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校

3. 社会に対しての関心が低い

→ (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にした学校

(4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し自己肯定感を高める学校

4. 自分で自分の学びを調整することが難しい

→ (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校

これまでの授業の在り方を見直し、「教育」とは何かを考え直す必要性

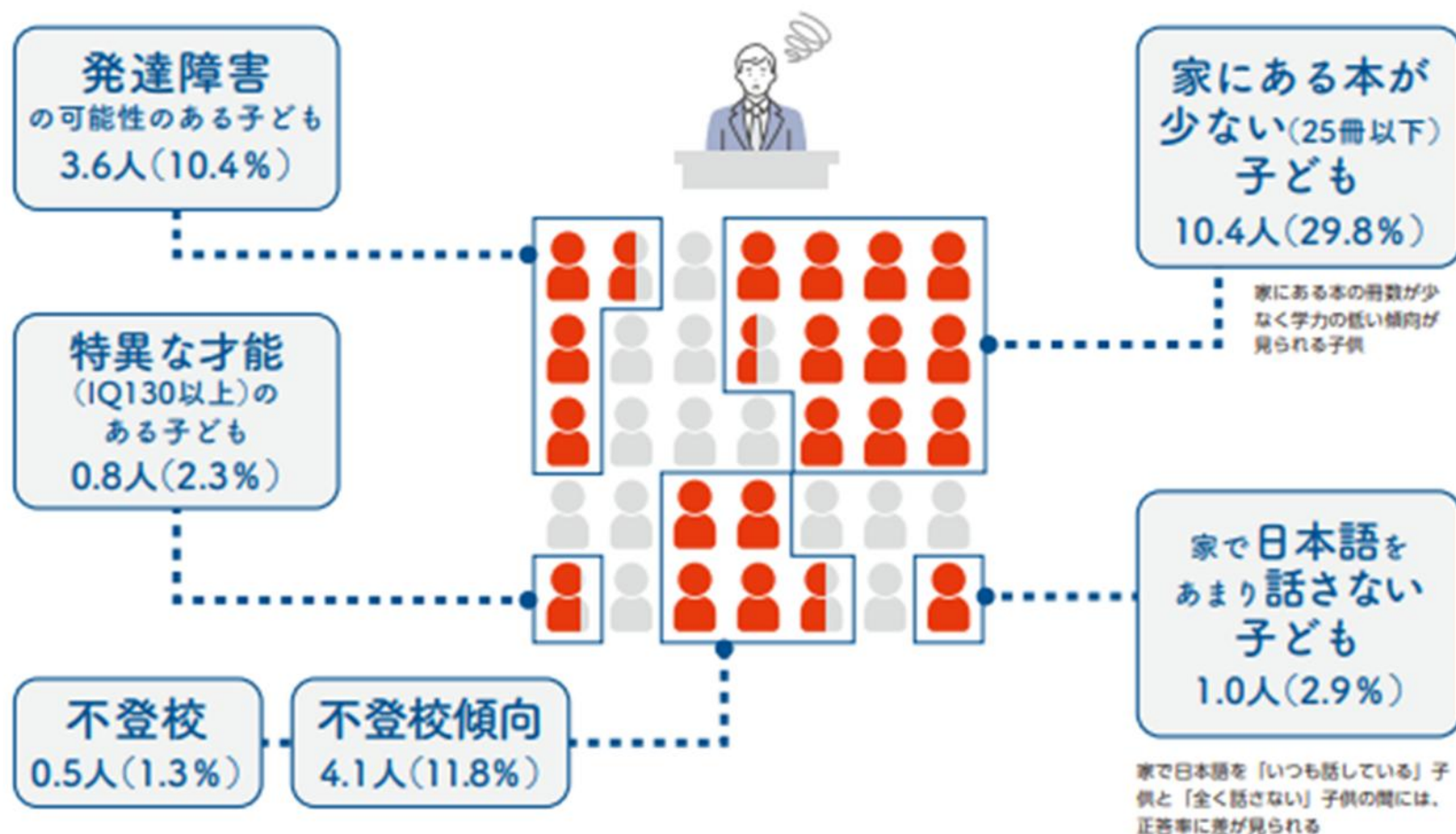
学習面における教育の最大の目的は

「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

## 教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。

小学校 35人学級の場合  
(全国値)



## 学校の状況(2)

### 子供たちの認知特性は様々… 視覚優位、言語優位、聴覚優位、体感覚優位…

話すこと・聞くこと  
書くこと・読むこと  
が得意な子供

興味や関心が  
拡散しやすい子供

音やダンスで表現することが  
得意な子供

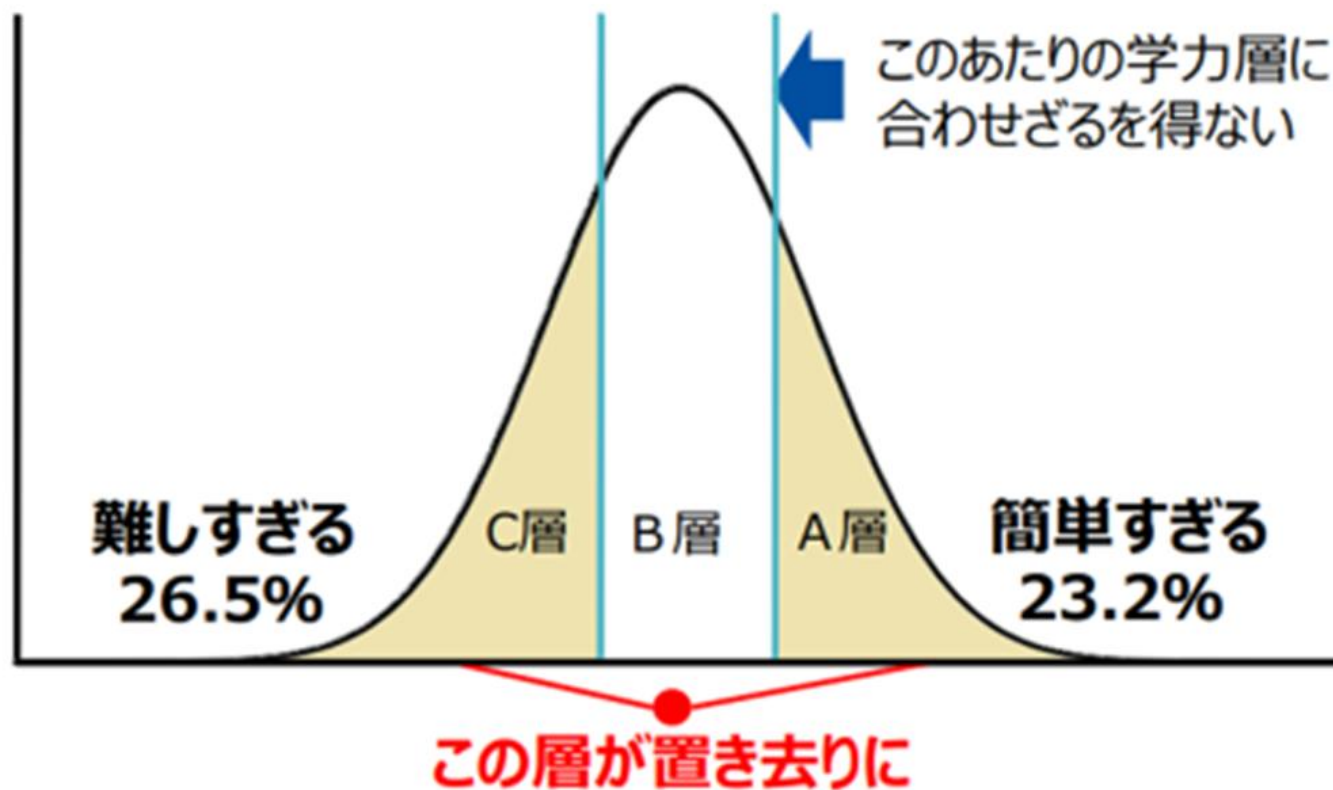
特定の分野に極めて高い  
集中力を示す子供

文字情報の扱いが苦手な子供

# 学校の状況(3)

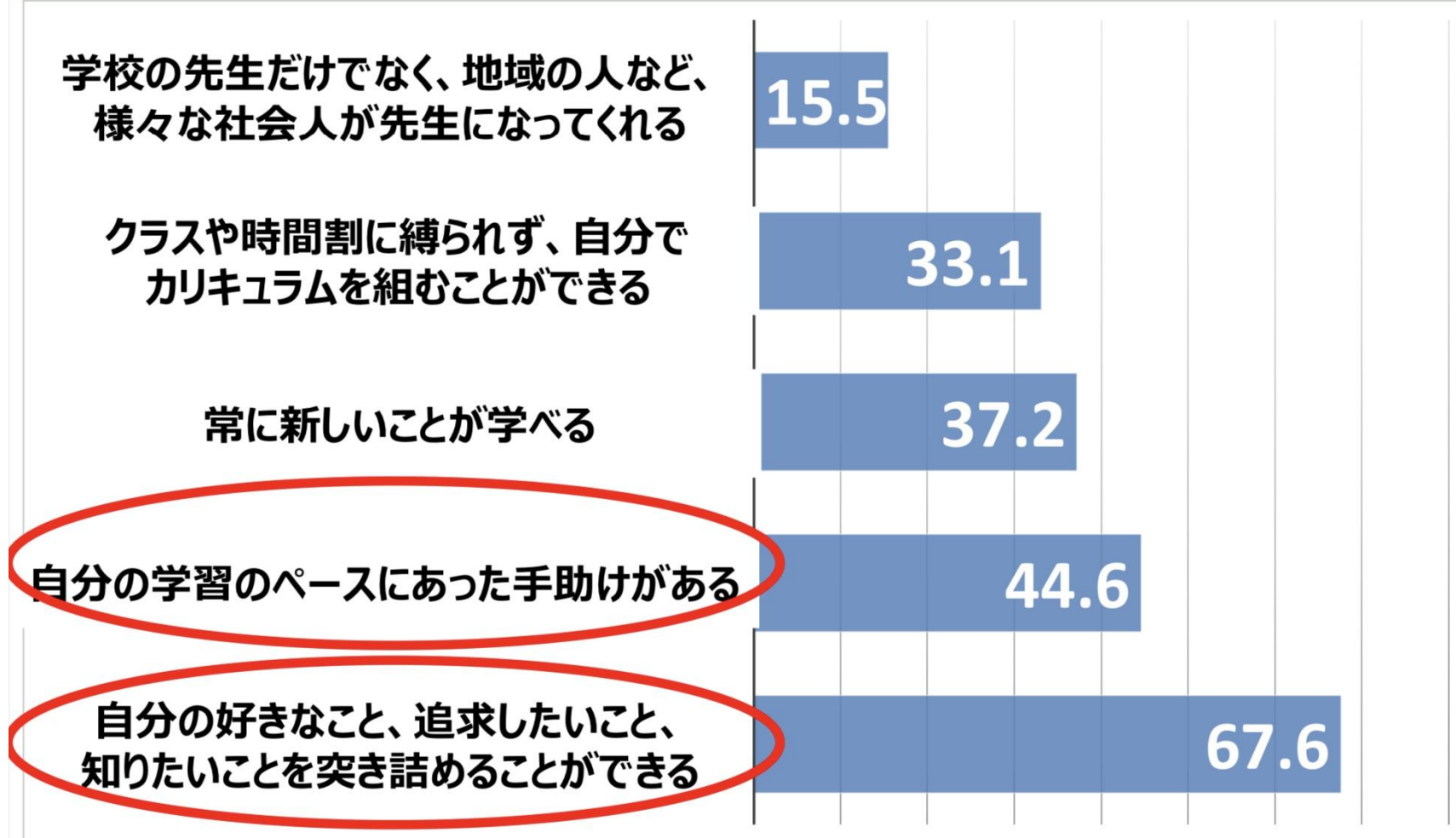
理解度や学力もバラバラ

小4~6



# 学校の状況(4)

## 不登校又は不登校傾向にある現中学生と卒業生(卒業後~22歳) 学びたいと思える場所



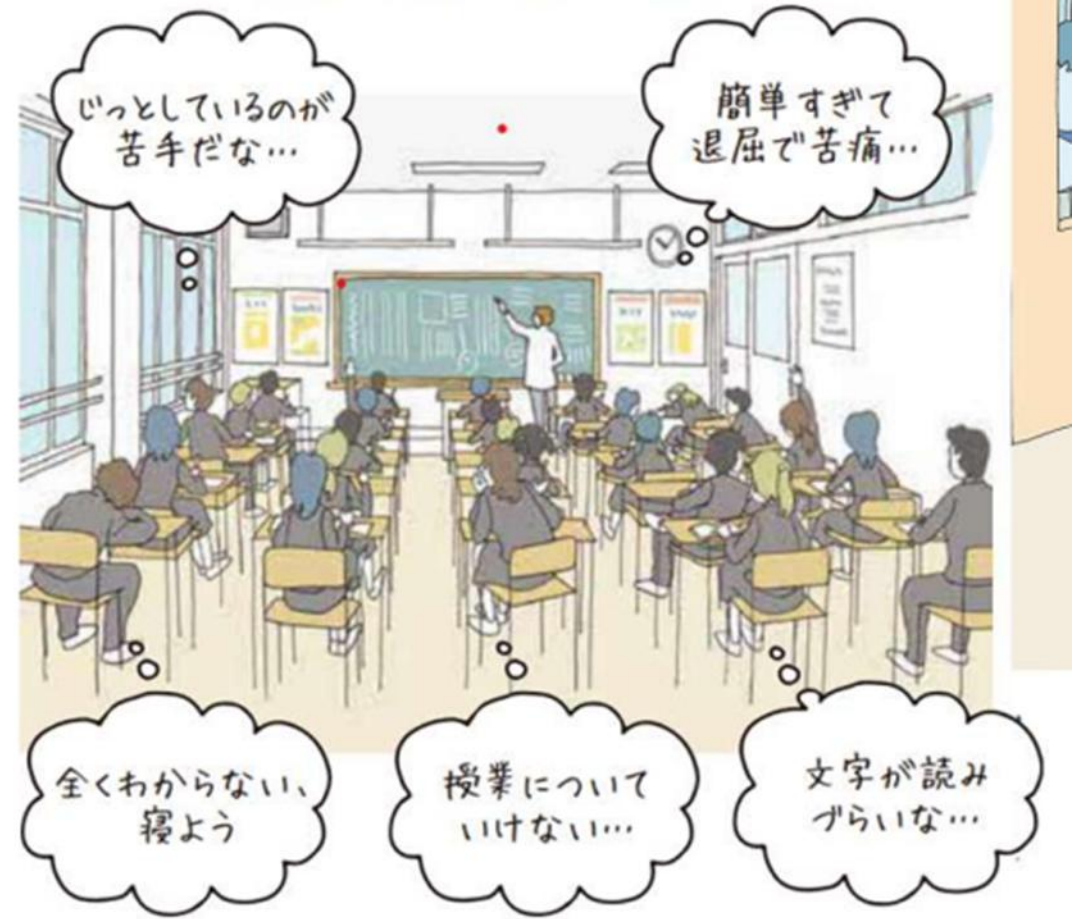
# 学校の状況

旧来型の画一的な授業が生み出したもの

○均質な人材育成に寄与し、  
高度経済成長に大きく貢献

△同調圧力

人との違いが目立つ  
失敗することを嫌う  
クリエイティブな発想や個性が  
発揮しづらい



**授業が苦痛、学校がつまらない  
生きづらさ、様々な問題を生み出す？**

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

## 今が学校教育の変革のとき

### めざす学校像

(1)「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

めざす学校像

(1)「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

校内研究の主題

「主体的に取り組む児童の育成」

令和7年度の成果と課題

自立した学習者へのステップ：本校の現在地（統合マトリクス）

	低学年	中学年	高学年
自己決定	確かな定着	確かな定着	確かな定着
見通し	次なる課題	確かな定着	確かな定着
交流(行動)	確かな定着	確かな定着	確かな定着
深まり(認知)	確かな定着	次なる課題	成長中
自己調整	次なる課題	次なる課題	確かな定着

● 確かな定着 ● 成長中 ● 発達の壁/次なる課題

# 今、氷室小学校がめざしているもの(学習面)

めざす学校像

(1)「他者と協働しながら、自立して学べる子」を育てる

校内研究の主題

「主体的に取り組む児童の育成」

令和8年度 校内研究の副題

「より良いゴールを目指して、自己調整できる児童の育成」

研究内容

「深まりを生む対話」「途中参照・他者参照」「振り返り」

詳細は、この後、西川より説明

# 今、氷室小学校がめざしているもの(生活面)

## めざす学校像

- (2) 心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校
- (3) 一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にしたい学校
- (4) 一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校

### 自己肯定感を高める7つの要件

- ・ 否定されない
- ・ 自分の意志が尊重される
- ・ 失敗が咎められない
- ・ 他人と比較されない
- ・ できていることをちゃんと評価される
- ・ 成功体験を積むことができる
- ・ 自分の成長を実感できる



自己肯定感

自己選択

自己決定

心理的安全性



学校

### 3つの言葉かけ

「どうしたの？」

子どもが置かれている上代を言語化させ、内面に意識を向けさせる。

「どうしたいの？」

自分のおかれている状態を解決するための方法を、頭の中で考えてもらうきっかけをつくる。



「先生にできることはある？」

問題解決の手助けをする。最初は、選択肢を提示してもよい。

# PBIS

(Positive Behavioral Interventions and Supports)

科学的根拠に基づくポジティブな行動支援

---

## 導入の目的

最重点課題である「教室の落ち着いた雰囲気づくり」と「いじめ・トラブルへの組織的対応」を解決するための枠組みです。

## 概要

学校全体でポジティブな行動を育むためのシステムです。個人の経験則ではなく、科学的なアプローチを採用します。

# 具体的なアクションプラン：4つの柱

## 1.

### 期待される行動の明確化

「廊下は静かに歩く」など、望ましい行動をシンプルな言葉に集約し、校内に掲示して全員で共有。



## 2.

### 行動の指導とルーティン化

望ましい行動を、授業や生活の場面で具体的に教え、練習し、習慣化（ルーティン）させます。



## 3.

### 望ましい行動の承認

行動できた時に、すかさず具体的に褒める。ポジティブな文化を醸成し、行動を振り返る機会を創出。



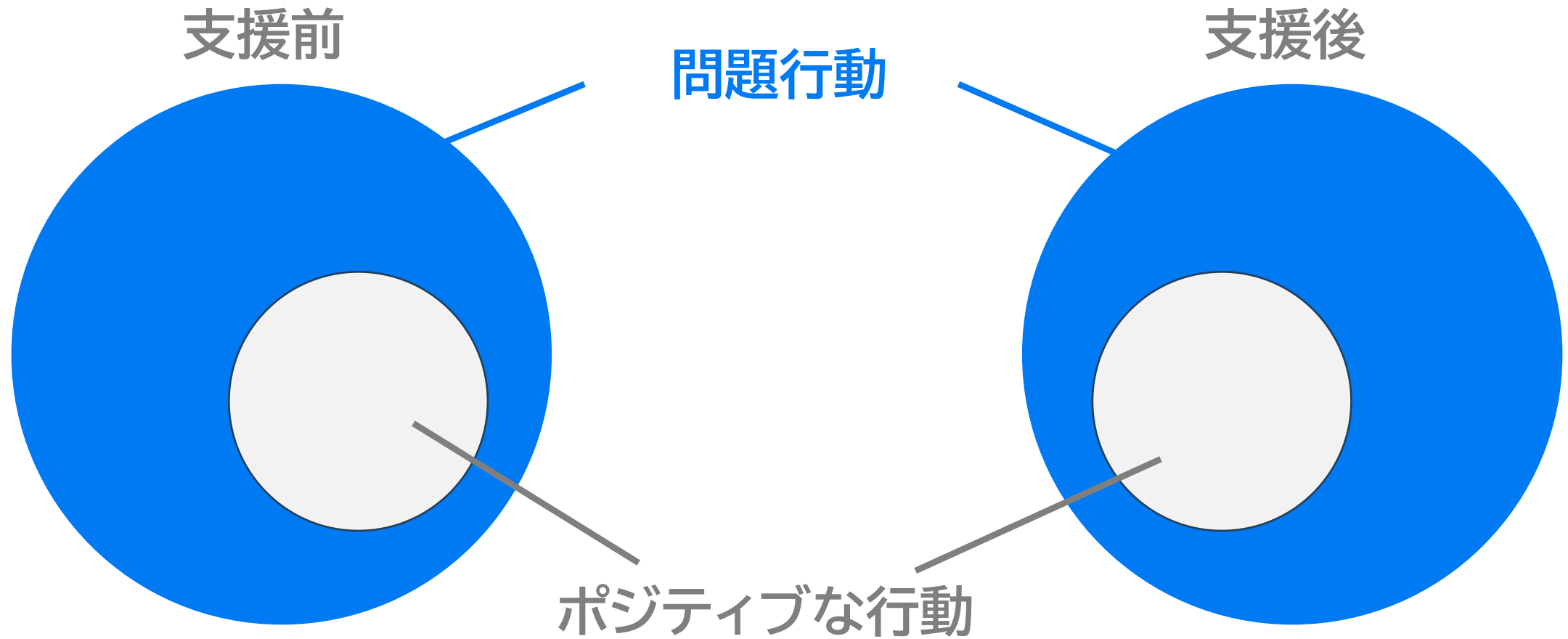
## 4.

### データに基づく意思決定

問題行動（いつ・どこで・誰が）を記録・分析。データに基づいて指導計画や環境調整を行う。



# 【心得1】ポジティブな行動を増やすことで、相対的に問題行動を減らす



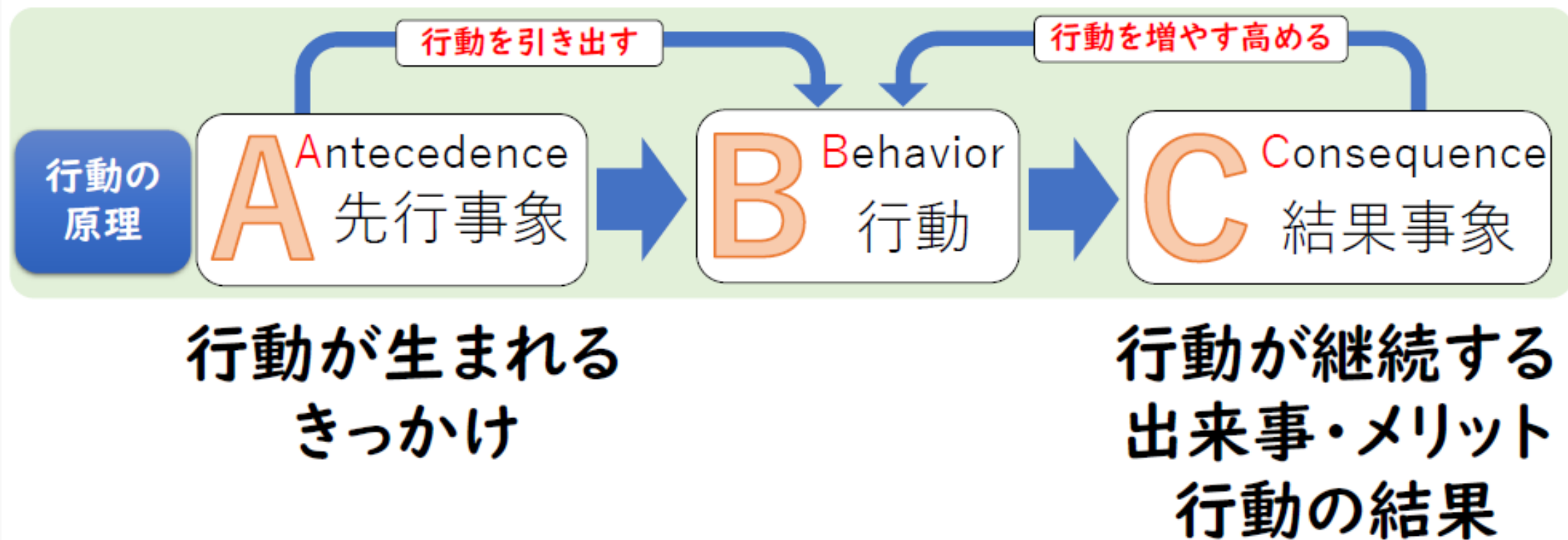
ポジティブな行動をしながら、問題行動はできない。

## 【心得2】 行動の原因を環境に求める（その人のせいにならない）

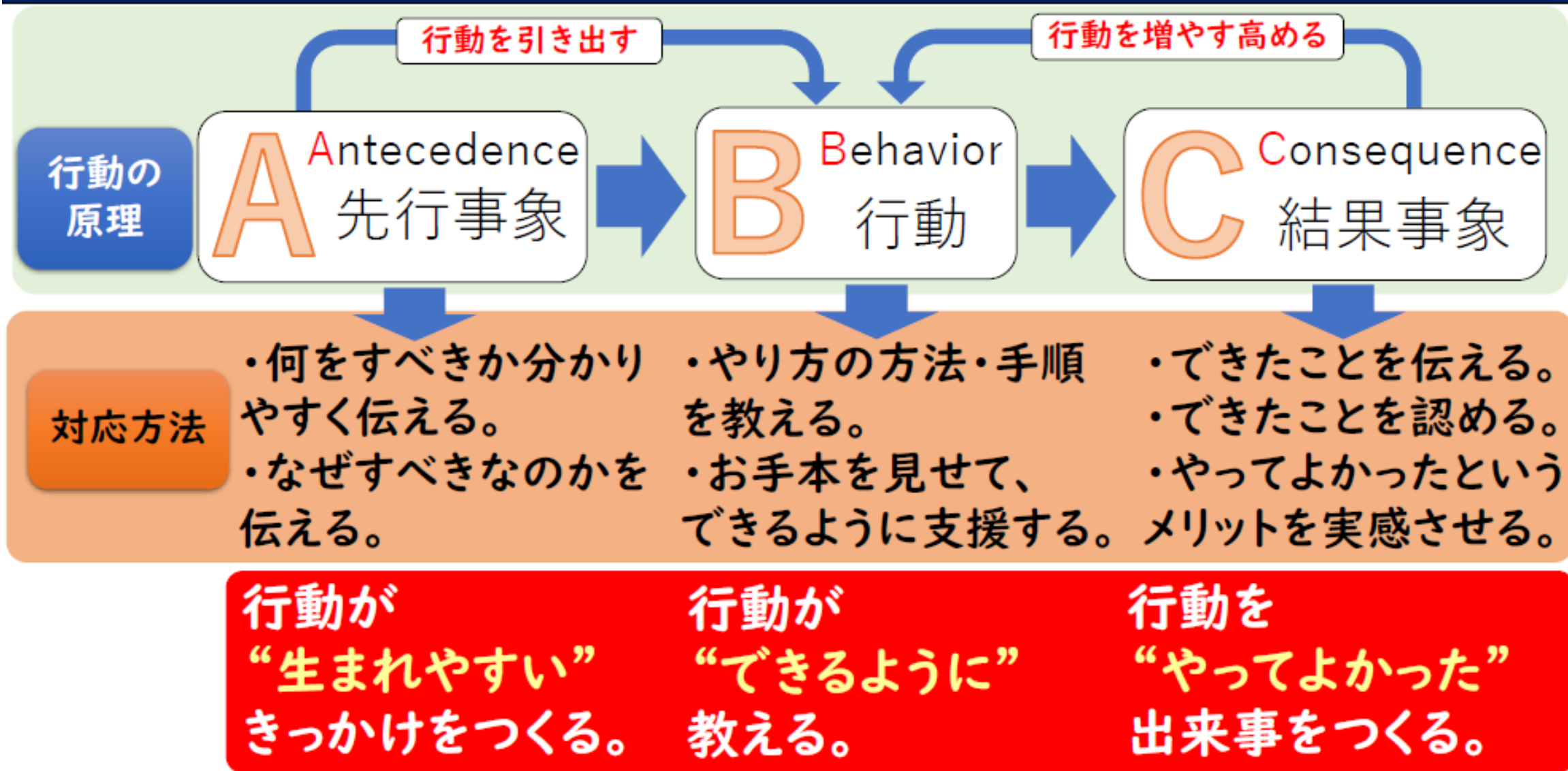


©yasunari matsuyama

## 【心得3】 行動の機能（ABCフレーム：行動随伴性）を整える



# 【心得3】 行動の機能（ABCフレーム：行動随伴性）を整える



# 今後の導入計画と展望



5・6年生の意見を取り入れ  
「望ましい行動表」を作成・決定。

行動表の校内掲示。  
全校生徒への周知。

「肯定的フィードバックカード」の試行など、  
スモールスタートで導入開始。

**「安心の質」を高める組織的な取り組みを推進します。**



学校教育目標



一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む



場面/価値観	自分のことを大切に	仲間を大切に	自立した態度を育む
登校時間 ・朝学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守って登校し、安全に歩く。</li> <li>宿題や道具の準備を自分で行き、朝学は静かに学習に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年や周りのペースに合わせて歩き、班のみなが揃うように気をつける。</li> <li>顔を見て挨拶をして、気持ちよく接する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示を待たずに自分で行動し、班長や副班長の役割を意識して列を整える。</li> <li>朝学はルールやマナーを守って学習する。</li> </ul>
準備時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレや水分補給をして、授業中に体調を崩さないようにする。</li> <li>自分の学習の準備を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人が準備できているかを見て声をかけ合い、助け合う。</li> <li>静かに過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイムが鳴る前に自分で準備を終える。</li> <li>チャイムを座って聞く。</li> </ul>
学習時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を正して先生や友達の話をしっかり聞く。</li> <li>自分の理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話している人の方を向き静かに聴く。</li> <li>友達の意見を大切にし、自分の考えも進んで伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからないことは自分で調べたり、先生や友達にたずねたりして解決する。</li> </ul>
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊ぶ時間と準備の時間を意識して、時間内に切り替えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と譲り合いながら遊び、誰も困らないように気をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守り、廊下では走らない。</li> <li>自分で考えて準備や遊びを切り替える。</li> </ul>
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が食べられる量を考えて無理なく食べ、時間内に食べ終わるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作ってくれた人や給食当番に感謝し、残さず食べるようにする。</li> <li>給食当番に並んで静かに行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食当番の役割をしっかり行う。</li> <li>食事のマナーを守る。</li> </ul>
掃除時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当場所を責任を持って掃除する。</li> <li>作業の順序や手順を自分で考えて効率よく行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人が気持ちよく使えるように掃除する。</li> <li>協力して全体をきれいにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黙々と最後までやりきる。</li> <li>細かいところまで気づき、自分で判断してプラスアルファの掃除をする。</li> </ul>
移動時	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間に間に合うように、自分の荷物や忘れ物を確認して移動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かに列を守って移動する。</li> <li>先生や友達にすれ違うときは挨拶をして、気持ちよく過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かに移動し、走らず右側を歩いてルールを守る。</li> </ul>
タブレットの活用時	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や学習に必要なことだけに使う。</li> <li>自分の理解を深めるために積極的にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有ノートやグループで使うときはルールを守り他の人の作業を邪魔しない。</li> <li>次の人が使いやすいように丁寧に扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で使用の目的やタイミングを考えて、必要な時だけ正しく活用する。</li> </ul>

# 今、氷室小学校がめざしているもの(生活面)



# 今、氷室小学校がめざしているもの(生活面)

SWPBSの取組

## くつをピカッとそろえよう! カレンダー

3つの  
やくそく

1. くつをはきかえるときは、下ぐつや上ぐつをくつばこにいれるよ。
2. 全員のくつがくつばこに入っていたら、校長先生がシールをはるよ。
3. みんなで声をかけながら、全員ができるようにしよう!



「全員のくつがくつばこに入っていたら、わたしがシールをはるよ! がんばろう!」

月	火	水	木	金
				4月10日 
13日 	14日 	15日 	16日 	17日 
20日 	21日 	22日 	23日 	24日 
27日 	28日 	29日 	30日 	



令和8年度 学校教育目

標 一人ひとりの個性や人権を尊重し、社会で生きていく力を育む

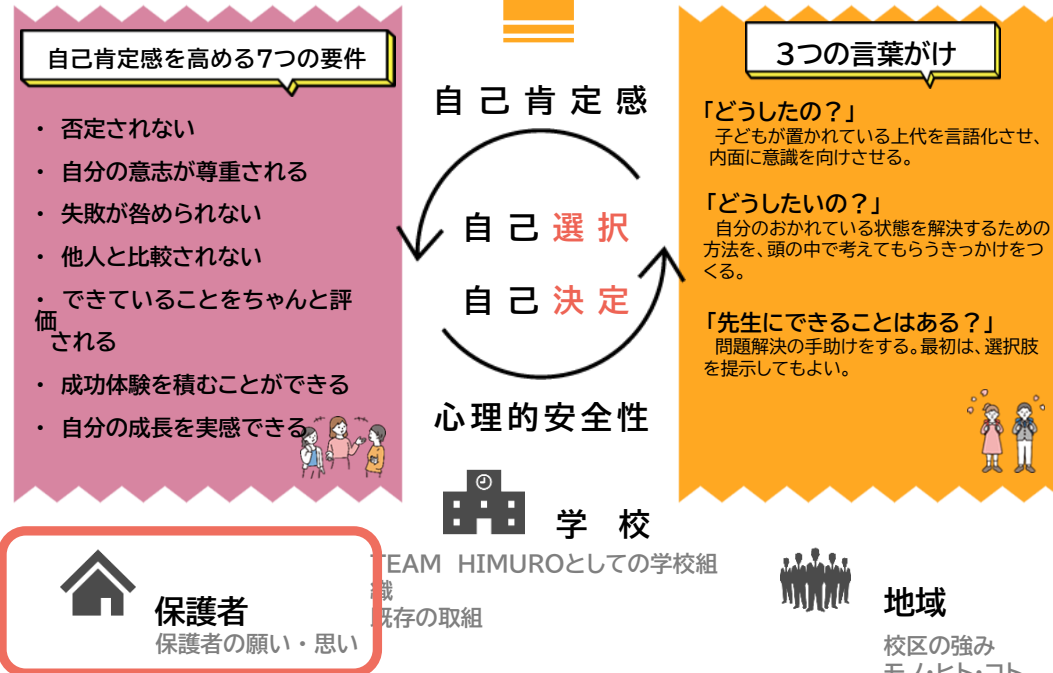
学校経営方針

子どもの主体性を第一に考え、子どもが選び、子どもが決め、子どもと共に創る学校

めざす学校像



- (1)他者と協働しながら、自立して学べる子どもを育む学校【校内研究の充実】
- (2)心理的安全性が高く、一人ひとりの自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (3)一人ひとりの個性や人権が尊重され、主体性を大切にされた学校【SWPBSの実装】
- (4)一人ひとりの挑戦する心や自己決定する場面を尊重し、自己肯定感を高める学校【SWPBSの実装】
- (5)全教職員が「TEAM HIMURO」として、学校教育の全てに携わる学校
- (6)地域の特性を学校教育に活かし、地域と歩む学校
- (7)保護者との連携を大切にし、協力・協働しながら共に教育を行っていく学校【SWPBSの実装】



# ～TEAM HIMURO～

学校が立てた目標について、保護者の方にもご理解いただき、  
学校と保護者が「子どもをよりよく育てる」という共通目標の  
もと横並びとなり、同じ方向性をもって、保護者の方と協力し  
ながら子どもたちを育てていきたい

参考資料・引用元(ページに記載がないもの)

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室長

栗山 和大氏

「令和7年度 大阪府小学校校長会資料」

文部科学省

「学習指導要領 論点整理」



氷室小学校ブログ